年間授業計画 新様式例

高等学校 令和８年度（２年次用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語　　科 目： 論理国語　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 年次 A 組～ F 組

教科担当者：（A組：伊藤） （B組：柿原） （C組：柿原） （D組：平良） （E組：伊藤） （F組：平良）

使用教科書：（ 大修館書店「論理国語」（論国705） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に関わりながらそれを向上させるために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力および他者との関わりの中での表現力、想像力やコミュニケーション力を深める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を深く認識し、自己を継続的に向上させながら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
第一学期	１世界・言葉・私 世界を広げる「批評」の言葉/対話の精神 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)ウ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア・ウ・カ	・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 ・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。 ・語の定義や対比を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・日本の文化の特徴をふまえつつ、対話についての理解を深める。	【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。［(1)ウ］ ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討している。［B(1)ウ］ ・「読むこと」において、文章の内容を人間、社会、自然などのテーマに結びつけて自分の考えを深めている。［B(1)カ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	○	○	○	8
	２芸術と文化 ミロのヴィーナス/余白の美学 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア・エ 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア・オ	・比喩的な表現に注意しつつ、論の展開をとらえる。 ・筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。 ・具体例の果たす役割を理解し、その意図を適切に読み取る。 ・「美」についての筆者の主張をとらえ、自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。［B(1)オ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	具体的/抽象的に書く 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)ウ (2)イ 【思・判・表】 A(1)オ	・的確に伝わるように具体的に書いたり抽象的に書いたりする。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。［(1)ウ］ ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。［(2)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。［A(1)オ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、説明文を書こうとしている。	○	○	○	8
	３共同体のいま 家族化するペット/コミュニティから見た日本 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ・カ	・統計資料や事例と筆者の主張との関係をとらえる。 ・社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて考えを深める。 ・グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。 ・日本社会の特徴について、理解を深める。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。［B(1)イ］ ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。［B(1)カ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、統計資料と本文との関係に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	４科学の可能性 自己をモデル化する知能/科学は生きている 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)イ	・論理の展開を的確に押さえ、筆者の主張をとらえる。 ・科学技術の進歩と人間の本質について、考えを深める。 ・小見出しごとのまとまりに着目して、論の展開を押さえ、筆者の	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。［B(1)ウ］ ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解	○	○	○	7

	【思・判・表】 B(1)ウ・カ	主張をとらえる。 ・科学に対する筆者の主張について自分の知識や経験などにもとづいて考えをもつ。	釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。［B(1)カ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	7
	５日本語の多様性 敬語への自覚、他者への自覚/「方言コスプレ」現象 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)オ・カ	・敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。 ・筆者の方言に対する視点や分析のしかたを的確にとらえる。 ・方言と社会の変容との関係に興味をもち、探究する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。［B(1)オ］ ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。［B(1)カ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
第二学期	６思考の枠組み スキーマと記憶/デジタル地図から見える世界 学習指導要領との対応 【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。 ・記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、ものの見方を広げる。 ・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・デジタル地図のもたらす変化について考えを深める。	【知識・技能】 ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割について的確に理解している。［B(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	情報を集めて分類する 学習指導要領との対応 【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 A(1)ア	・集めた情報を観点に応じて整理・分類する。 ・整理・分類した情報をもとに、自分の考えを書く。	【知識・技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。［(2)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。［A(1)ア］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	７社会の原点 社会的実在としての言語・法・貨幣/分かち合う社会 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア・カ	・論の展開のしかたや、具体的なエピソードの意図を理解する。 ・言語・法・貨幣がどのような存在かを読み取り、社会に対する認識を深める。 ・学説を引きながら論述する文章を読み、主張をとらえる。 ・食習慣を切り口にして人類社会の成り立ちについて考える。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。［B(1)カ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	12
第三学期	８グローバル化の先へ 心に「海」を持って/世界は、いま一「多文化世界」の構築 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)オ・カ	・文章全体の構成を意識して、筆者の主張をとらえる。 ・文明と海や人との関係を知り、普遍的な文明について理解を深める。 ・小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。［B(1)オ］ ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。［B(1)カ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	調べたことをレポートにまとめる 学習指導要領との対応 【知・技】 (1)エ (2)イ 【思・判・表】 A(1)ア・カ	・目的を明確にして、適切な引用を行う。 ・多様な方法で情報を収集し、効果的な構成を考えて書く	【知識・技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。［(1)エ］ ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。［(2)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。［A(1)ア］ ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。［A(1)カ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。	○	○	○	5
							合計 117